

平成 19 年度当初予算 施策別概要

3 2 4 食の安全とくらしの衛生の確保 (主担当部 : 健康福祉部)	32401	食の安全・安心の確保	(健康福祉部)
	32402	生活衛生営業の衛生水準の確保	(健康福祉部)
	32403	医薬品等の安全確保	(健康福祉部)
	32404	薬物乱用防止対策の充実	(健康福祉部)
	32405	人と動物との共生環境づくりの推進	(健康福祉部)
	32406	食の安全とくらしの衛生の確保のための調査研究・試験検査の推進	(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

- (対象) 県民一人ひとりが
- (意図) 安全・安心な食生活や衛生的な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	食品の検査件数に対する不適合食品の割合	目標値	5 . 1 %
		現状値	6 . 4 % (2005 年度)

「食品衛生法」に規定されている食品、添加物等の規格基準および県の食品指導基準不適合率
(健康福祉部薬務食品室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	食品の製造・加工の工程検査 (A T P 等) の 実施件数	目標値	1 , 1 0 0 件
		現状値	6 4 2 件 (2005 年度)

< 現状と課題 >

食の安全については、BSE問題などを契機に、従来の「食品衛生行政」から国民の健康保護を目的とした、消費者重視の「食品安全行政」への転換が進んでいます。県では、2003年(平成15年)に策定した「食の安全・安心確保基本方針」に基づき、生産から消費にいたるまでの一貫した監視指導や検査体制の強化、事業者や消費者への情報提供等に取り組んできましたが、食の安全に対する消費者の不安は依然根強く、消費者、事業者、行政等の連携による総合的な食の安全確保が求められています。

医薬品等の安全確保については、製造及び品質管理に関する基準(GMP)により、製造施設に対する査察を行っていますが、販売や使用後の副作用対策にいたるすべての過程での適正な安全対策を講じることが必要です。また、違法ドラッグなどの無承認・無許可医薬品に対する不安が増大していることから、監視体制の強化や県民への正確な情報提供を行う必要があります。

< 平成 19 年度 の 取組 方向 >

食品の製造、加工施設に対し、HACCPの考え方に基づいた自主衛生管理システムの導入を促進します。

また、安全な食肉を供給するため、BSE検査を含めたと畜検査の実施と、生産から流通にいたる一貫した衛生的な取扱いの指導をします。

さらに、県民の食の安全への理解を深めるため、消費者、事業者、生産者へのリスクコミュニケーションを充実します。

薬局・医薬品販売施設等の監視指導の充実や自主管理体制の促進を図るとともに、無承認無許可医薬品や違法ドラッグ対策に取り組みます。

薬物の乱用を防止するため、民間団体と協働して「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び麻薬・覚せい剤乱用防止運動等の啓発活動を行います。

動物愛護の精神や意義、動物の適正飼養・終生飼育について理解や関心が得られるよう、動物愛護のポスター展等の啓発事業を実施します。また、特定動物飼養者、動物取扱業者および一般の飼い主に対する講習会等を開催します。

<主な事業>

食の安全食品衛生監視指導事業【基本事業：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 46,347千円 31,274千円

事業概要： 県内の食品関係事業者に対し、HACCP手法に基づく衛生管理システムを普及し、導入を促進することで、事業者による自主管理体制の確立をはかります。
また、食品の安全性に関する情報を公開し、県民と事業者等のリスクコミュニケーションを推進します。

食の安全食品検査事業【基本事業：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 73,696千円 98,387千円

事業概要：消費者に安全な食品を供給するため、残留農薬、残留動物用医薬品、遺伝子組換え食品、アレルギー物質の検査等、検査の充実強化を行うとともに、ポジティブリスト制度に対応した高精度農薬等検査機器の整備をはかります。

(新)無承認医薬品・指定薬物対策事業【基本事業：32403 医薬品等の安全確保】

当初予算額： 千円 5,343千円

事業概要：県民の健康被害を予防するため、ダイエット・強壮効果等を標榜する無承認医薬品および精神毒性の高い違法ドラッグを対象に、インターネットの監視活動や青少年への啓発活動に取り組みます。

薬物「ダメ。ゼッタイ。」みえ県民運動推進事業

【基本事業：32404 薬物乱用防止対策の充実】

当初予算額： 4,895千円 4,517千円

事業概要：青少年を薬物汚染から守るため、民間団体や関係機関と連携したキャンペーン活動、薬物乱用防止教室の実施など、啓発活動に取り組みます。

動物保護管理推進事業【基本事業：32405 人と動物との共生環境づくりの推進】

当初予算額： 2,392千円 3,343千円

事業概要：動物愛護精神の向上のため、小・中学生の動物愛護の絵・ポスター展を開催します。また、学校や地域等で、動物の適正飼養等についての普及啓発活動を推進するとともに、ホームページや広報等で飼い主責任についての啓発を行います。

(新)地域性を考慮した農産物中残留農薬一斉分析法に関する研究費

【基本事業：32406 食の安全とくらしの衛生の確保のための調査研究・試験検査の推進】

当初予算額： 千円 6,654千円

事業概要：県内産農産物を中心として残留農薬を迅速かつ正確に検査が行えるよう、一斉分析法の研究を行います。